



# 平田海洋クラブ

発行  
2026年  
3月

# 会報誌

- ・ 初心者カヌー教室 . . . . . P2
- ・ マリンフェス . . . . . P2
- ・ 日本海カヌーツーリング . . . . . P3
- ・ プールでのカヌー教室 . . . . . P3
- ・ 最上川カヌーツーリング . . . . . P3
- ・ 海洋クラブ員情報 . . . . . P4
- ・ 来年度の予定、その他 . . . . . P4



発行責任者 B & G平田海洋クラブ会長 山本 俊介



# 初心者カヌー教室

開催期間：6月～7月 計4回

執筆：クラブ員 佐藤太三郎



齢七十でのカヌーデビュー。参加の理由は人それぞれでしょうが、一番びっくりしたこと。それは若い人の参加者が少ないことでした。やはり、水とカヌーを使うというハードルの高さからでしょうか。

今後のカヌー人口が心配です。経験浅き者の一つの所見として、もっと小学生から普及・育成を進めるべきだと思います。例えば入門としてヘルメット等の防具をしっかりと用意したうえで、マンツーマンによる少年用プールカヌー教室を開催する。身近にカヌーに乗れる機会を作り、カヌーに乗れるようにする。その後、自然の中でカヌーを満喫すれば、カヌー愛好家になる可能性も一層増すかもしれません。カヌーでスイスイと水面を進み、そよ風に当たれば気分は最高だから。

カヌーは異性にもてる派手さは無いが、殺伐とした社会の疲れを癒してはくれるでしょう。



## ★マリンフェス★

執筆：事務局

厳しい暑さが続いていた8月10日（日）、平田B&G海洋センターヨットカヌー場から少し登ったところにある泉谷地ため池にて、山形県B&G海洋センター連絡協議会主催の「マリンスポーツ&クリーンフェスティバル」が開催され、酒田市・舟形町・大蔵村から計32名が参加しました。

まずは「水辺の安全教室」で準備運動。紙芝居で水辺の危険を確認し、ライフジャケットの浮遊体験。いざカヌーやサップで漕ぎ出すと、子どもたちはすぐにコツを掴み、スイスイ進んでいきました。

昼食のお弁当でお腹を満たした後は、この日一番の盛り上がりを見せたスイカ割り大会！「右右！」「もっと前！」と周囲の熱烈なアドバイスを受けながら、見事に棒が当たると大きな歓声が上がりました。用意された3玉の大きなスイカを全員で囲みましたが、32人でも食べきれないほどのボリュームで、「スイカ食べ放題」状態！甘くて冷たい旬の味に、みんな夢中になって頬張っていました。

カヌーにスイカに、お腹も心も大満足。地域の枠を超えた新しい友達もでき、最高の夏の1日となりました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！



## 日本海カヌーツーリング



執筆：クラブ員 佐々木吉満

8月31日は少雨が降ったりやんだり、雲の切れ間に少し日が差しながらも雷の予報が出ているような天候でしたが、波と風は穏やかでカヌーを漕ぐには良いコンディション。

板貝海水浴場から桑川海水浴場に向けて総勢18人で出発。漕ぎ慣れてきた頃にこのツーリングの醍醐味である岸壁に空いた洞窟入り口に到着。一艇がやっと通れるほどの狭く暗い洞窟の中、波のリズムに神経を研ぎ澄ませながら、岩肌に触れぬよう慎重にパドルを操った。静寂と水音だけが響くその空間は、まるで別世界のような感覚。しばらく進むと前方にかすかな光が差し込み始め心がざわめく。さらに進み、右へとカヌーを旋回させた瞬間、視界が一気に開けた。そこには、青く広がる海と、どこまでも続く空が待っていた。暗闇から光へと抜け出したその瞬間、入った時の緊張感から解放され達成感に包まれました。



執筆：事務局



## プールでのカヌー教室

9月11日、B&G海洋センターのプールにおいてカヌー教室を行いました。普段のため池では挑戦するハードルが高い艇や技術を体験する目的で開催され、9名が参加しました。

レーシング艇は水の抵抗を減らしてスピードが出るように船体が細長く作られていて、その分バランスをとるのが非常に難しくなっています。初めて乗る方は、艇に乗り込んで漕ぎ出すまでにバランスを崩し



て沈める方も多く、まずは艇に乗り込んで静止するところを目標にするも、皆さんバランスの取り方に苦戦していました。

カヤックが転覆した際に、脱出せずにパドルを使って自力で起き上がる技術をエスキモーロールといいます。できるようになるにはコツと練習が必要です。参加者同士で補助しながら練習していました。

夜にプールでカヌーに乗るといった非日常的な体験ができ、楽しい教室となりました！

## 最上川カヌーツーリング



執筆：クラブ員 松本秀樹

9月28日は、最上川カヌーツーリングの日でした。平田海洋クラブにお世話になって3年目ながら、初の最上川挑戦です。

9月の上・中旬は、まだまだ暑さの残る厳しい気候でした。が、下旬ともなると、「沈はいやだな」という水温になっていて、始める前からややビビリ気味。それでも、気を取り直して漕ぎ始めました。最初は、快適に漕いでいて「楽勝」の二文字が頭をよぎったところから、不規則な縦波や渦巻やらが顔を見せ始め、今度は「やばい」の3文字が脳裏に浮かぶ状況に。それでも、指導者の方々の適確なリードもあってなんとか漕ぎ切りました。

艇庫に戻ってからの芋煮がどれだけうまかったかは、いうまでもありません。ため池で行う練習の仕上げとして、最上川のツーリングは大変良い企画だと思います。最上川を悠々と漕ぐことができるよう、今後も練習を続けていきたいと思っています。





# 海洋クラブ員情報2025



ぼくは、アンドリー！  
よろしくね！

Q1.今年度の会員数は？

A.個人会員22名、家族会員57組224名 合計246名

(前年度)個人会員37名、家族会員70組287名 合計324名

Q2.会員の構成内容は？

A.一般男性 86名、一般女性 73名、中学生以下男性47名、中学生以下女性40名

(前年度)一般男性115名、一般女性100名、中学生以下男性58名、中学生以下女性51名

Q3.今年度のヨットカヌー場の利用人数は？

A.855名 (昨年)961名

## 平田B&G海洋クラブ公式ラインについて

公式ラインではヨットカヌー場の利用料金や営業日を掲載しています。

@027glqzb

天候による景観状況も確認できますので、ぜひご登録ください！

LINEの「友だち追加」からID検索するか、  
二次元コードをスキャンしてください。



## 2026年間スケジュール

(予定)

期日	行事名
5月3日	艇庫開き
～9月	定期活動(開館日)
6月～7月	初心者カヌー教室
8月30日	日本海カヌーツーリング
9月	プールでのカヌー教室
9月27日	最上川カヌーツーリング 艇庫納め
10月	ダム舟艇交流会
3月	冬季活動

## あとがき

今シーズンは少雨による渇水により、シーズン途中から泉谷地ため池を活動場所として使用しました。普段活動している金谷ため池よりも湖面面積が大きく、水の透明度が高い、景観が良いなど魅力溢れる穴場スポットで、泉谷地のファンになった方もいたのではないのでしょうか？

来シーズンもまた元気な姿で皆さんにお会いできることを楽しみにしています！

